

岡山県議会議員

太田まさたか

おおた



プロフィール

昭和39年生まれ 56歳
《役職歴》土木委員会委員長、農林水産委員会委員長
総務委員会委員長、県監査委員
《選挙区》岡山市北区・加賀郡

県政だより

令和2年
秋号
VOL.43

編集責任者:太田正孝 岡山市北区延友455 TEL.(086)201-5523

同時流行に備えて 気を付けましよう!!

今年一月下旬から新型コロナウイルスの感染拡大が心配されました。この状態がどこまで続くのかを揉むところもありますが、長い間、どうやれば普通に近いうちに暮らしてできるのかと探り続けてきたことで、少しずつ新型コロナウイルスとの付き合い方も見えて来たようなところもあります。手洗いの徹底、マスクの着用に始まり、大声での会話や大人数での会食などを控えるといった新しい生活様式がかなり定着してきたのではないかと感じております。そして、行政側において、PCR検査体制と感染者の受入態勢の整備に注力してきたこともあり、ある程度経済を回すことが可能と なってきました。

流行を想定しておかなければなりません。国、県、市町村、それぞれ、医療機関は、その対策に追われているところでは、一方、私たちも、インフルエンザにかからないように、手洗い、うがいの徹底やインフルエンザの予防接種をしていくべきです。個人として、気を付けて下さるようをお願い致します。

さて、今回の県政だより発行に当たって悩みました。発行が遅れてしまい、前回の発行から六月と九月の定例県議会がありました。そのため、いつものような編集のようにはいかない、さて、どうしようかということ、で、編集方針を考えていると、またもや時間が過ぎていきました。

両定例県議会を振り返ると、六月定例県議会の私の一般質問は、ほぼ100%、新型コロナウイルスに関することでした。そこで、重点医療機関の整備も計画通りに進んでいます。一方、九月定例県議会では、「同時流行への対応」、「今後の財政の見通し」などこれからのことに重点を置いた質問をしましたので、今回は割って、九月定例県議会の論戦を中心に編集しました。

いつもながら文字数も多く、読み難いかもしれません。最後まで読んで下さると、とてもうれしです。末筆になりますが、皆様のご健康ご多幸をお祈り致します。

岡山県議会議員
太田 正孝

九月定例県議会を 振り返って

九月補正予算と 追加分について

九月定例岡山県議会当初に提案された補正予算案の規模は、五十億六千六百万円でした。

このなかの主な予算を紹介し
一つ目は、中小企業支援の資金繰り支援のための基金創設(三十億円)についてです。新型コロナウイルスの影響で売上げが減少した中小企業を支援するために、国の財源を活用して三年間無利子で融資する制度を作っています。さらに今回、基金を創設して、四年目、五年目の利子軽減を図りたいと県議会に説明しました。

二つ目は、子どもへのインフルエンザワクチン接種補助(九億四千六百万円)についてです。小学生以下が対象で、一人の費用は約四千万円と見ていて、全額補助するとしています。

三つ目は、県立学校修学旅行中止に伴うキャンセル料の支援(二億九百万円)についてです。この予算では私学は対象になっていません。この点を一般質問で取り上げる議員がいて、議論の焦点となったのです。後ほど、この点については触れます。

他には、指定管理者の感染対策経費補助二億八千二百万円等

の予算が入っていました。ところが、この補正予算だけで終わらせませんでした。会期中に、さらに八億三千五百万円余の補正予算案を追加提案されたのです。この追加提案によって、新型コロナウイルスの影響で困っている事業者に対する金融支援枠が千九百五十億円増額されて、総額約四千九百億円までに拡充されることになりました。

この追加枠ですが、これまでとは違って、金融機関に協力をいただいで、県の負担を抑えるスキームとなっています。そして、この説明がなされる中で、県の財政が厳しくなっているという話が出てきたのです。国の制度を活用しても、減収分を賄いきれないとの見通しです。この点について、私は一般質問で取り上げました。その内容については、一般質問のやりとりのなかで書かせて頂きました。ご覧くださればと思います。

九月定例県議会での論点

修学旅行キャンセル料の 支援の在り方について

九月定例岡山県議会一般質問で修学旅行のキャンセル料の支援の在り方が問題視されたこと



は前項でお伝えしましたが、その内容を報告します。
九月補正予算案で、県立学校の修学旅行を中止し、又は延期したことに伴い発生するキャンセル料等を支援することで、保護者負担の軽減を図るとして、この件に関して、複数の議員から、私立高校の家庭に対しては補助をしないのかという意見が出されたのです。
この背景には、私学の生徒一人当たりの補助金額が全国の中で、下位から数えて直ぐということがあります。
この件に関する県当局は誠意をもって答弁をされていましたが、どうも歯切れはよくありません。早く他県並みには支援をして行けるようにすべきです。

9月定例岡山県議会

一般質問

私は9月16日に一般質問に登壇しました。その時の県当局とのやり取りを報告します。

今年度県の税収は

二百〇三億円ダウン、
歳入確保策は?!

現在、(県は)新型コロナウイルスへの対策に全力投球をしているところである。そのなかで、気になることが次々と起きている。今年二月末から経済活動を抑制せざるを得なくなり、そのため、県税も大幅に落ち込みそうなのである。そこで、最初に取り上げたのは、財政運営の中の地方消費税清算金歳入部についてである。

今議会の自民党代表質問の答える形で、今年度税収が二百〇三億円程度減収するとの見通しが示された。ここではその内訳は明らかにされなかった。

内訳が分かれば、今後、どう対応すべきであるかが見えてくるはずではないかとの思いから、地方消費税清算金歳入部分に的を当てて、質問することにした。

質問に当たって、当初予算で見込まれていた地方消費税清算金歳入部

を調べると、八百七十一億六千五百万円であった。この額がどの程度落ち込む見込みかを総務部長に訊ねた。

総務部長から六十〇九十億円減収するとの見通しの回答。この地方消費税清算金歳入部分は県税と違い、減収補填債の対象とならないという所が重要である。

それでは、この減収分どうやって賄うのかということが大切である。県当局としては、「事務経費節約」や「出張自粛」による十五〇二十五%の経費削減や新型コロナウイルスで中止した事業で浮くことになる予算を充てること、何とかしたいとの答を繰り返している。この六十〇九十億円はとて大きな額で、賄いきれるのだろうか、心配は消えない。私は県民サービスにも影響が出ないように、早め早めの議論をもっとすべきだと考えている。

そこで、歳入確保策に議論を移すことにした。財源不足額を賄う財政調整基金の残高は今年八月末時点で約三十八億

円である。この基金の取り崩しだけでは、どうにかなる額ではない。この議会の一般質問で、「企業局からの借り入れか、大規模事業の凍結か、行う予定はあるのか、また、事業凍結の場合、見直し作業が必要だが、どういうスケジュールで行うのか、更には再び財政危機宣言を出すようなことがあるのか」を知事に訊ねた。

知事から、事務費削減等の取組をしていることともに、国へ減収補填債の対象税目の追加等を国に要望していることが報告された。

続けて、新型コロナウイルス対策の財源について、質問を移した。

国から岡山県に対して、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金約二百億円が手当てされた。そのおカネ全てが九月補正予算案で活用することになる。一方、前述した通り、大幅な税収減等により、急遽、今後は緊縮財政となっている。

ついでには、今後、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた事業者への支援(休業要請を出した時の休業補償も含めて)や感染防止対策の強化について、県単独で対応をすることは困難なのではないかとの思いが頭を過り、そのことを率直に知事

に訊ねた。

知事から、感染症の状況等により新たな対応が必要になれば、予算措置を適切に行っていきたいとの回答があった。併せて、国に財政支援を要望していることも明らかにして下さった。先ほどの歳入の件と同じ方向の話である。

この回答を聞いた上で、「休業補償金」に対する知事の考え方をものと知りたいたいの思いから、再質問を行った。

知事から、休業要請と休業補償の関係について、災害時の避難に当たり、避難補償ができないから避難勧告が出せないものではないことを事例に挙げられての説明を受けた。

この説明の中で、県に財政的余裕がないことが滲み出ていた。秋冬に大きな感染の波が来ないことを祈りながらも、休業要請をせざるを得なくなった場合、要請された人たちの生活をどう守るべきなのか、そこはしっかりと考えておくべきことである。

発熱した場合の連絡先は?

秋冬にかけて、風邪やインフルエンザ等が流行し、発熱患者が病院等を受診する機会が今と比較にならないくらい増えるのではないかと声を多く聞いている。発熱をした場合、「帰国者・接触者相談センター」のような相談機関を設置して、そこに問い合わせるような仕組みを行政が作られるのか、行政の取組が私たち県民には伝わって来ていないので、県の考え方を保健福祉部長に訊ねた。その回答の要旨をお伝えする。

かかりつけ医や受診・相談センターに電話相談した上で、指定された医療機関を受診するように国から示されていて、現在、こうした体制を、医師会と連携をとりながら、構築中とのことである。

この回答を聞いて、私から、相談窓口の連絡先をしっかりと示して欲しいと要望した。

病院等の取組に対する支援は?

病院・診療所側からすると、発熱患者の外来があった場合、どうすれば良いのか、頭を痛めている所が多くなる。

外来患者を受け入れるための方策として、病院や診療所側が取れる対応は、幾つか考えることが出来る。

一つ目の方法として、診療所にドライブスルー方式を実施して、そこで発熱者と発熱者でない人を分けて、診察を行う。

二つ目として、診療所屋外に仮設の発熱外来センターを設けて、そこで発熱がある方の診察を行う。

三つ目として、病院内に発熱のある方とない方の動線を分けて、診察を行う。

他にも方法はあるものと考えますが、こうした対策を講じようにも、診療所・病院側に相当の負担がかかることになる。そこで次の三点について、保健福祉部長に訊ねた。

頑張っている診療所・病院側に對して支援をと思うが、県当局としては、どのような支援策を準備されているのか。

そして、発熱外来対策を講じた診療所・病院を何か所作する予定にしているのか。

それらがどこにあるのかの広報はどのように行っていくのか。

すると、保健福祉部長から三点について、次々と答弁があった。

内容を報告すると、病院等への支援について、発熱患者を受入れる病院等については、医療防護服が国から配布されることである。発熱患者受け入れの医療機関の目標数は定めていないとのことである。

広報については、体制が整った段階で、チラシ、ホームページへの掲載等を行うとのことである。

また、受入のための修繕工事等の支援について訊ねたが、支援内容は十分なものとは言えないものであった。

サプライチェーンの再構築をどう図るのか?

今回、我が国サプライチェーンの脆弱性が顕在化したことから、国においてサプライチェーンの再構築を図ろうとしている。そうしたなか、県レベルにおいても、岐阜県、鳥取県、兵庫県においても、この点に力を入れている。

このサプライチェーン再構築について、どの産業分野に注目をされていて、県独自にどんな取組をされているのか、そして地方への分散にも繋げて戴きたいのだが、どうですか、と知事に訊ねた。

知事から、大型投資・拠点促進補助金など本県の優遇制度は、サプライチェーン再構築にも適用できるの、引き続き、企業の投資動向の把握に努め、出来るだけ多くの企業の誘致と投資の促進図って行きたいとの趣旨の回答があった。

この知事の考えを聞いて、私は(玉島ハーバーランドの)航空機産業用地は十年、十五年待たなければ、今すぐには考えていない、他の土地を開発するのが本筋」との返答があった。

航空機産業にかける知事の並々ならぬ想いを聞かせて頂くと同時に、産業用地開発を県としても行うとの期待を持たせるものだったのだ。この点に関する県当局の今後の動きに注目して行きたい。

産業用地確保は?

サプライチェーン再構築と併せて、岡山県南での産業用地確保について質問を行った。

というのも、先般、岡山県内にまとまった土地がないということ、



新型コロナウイルス感染症対策本部

鳥取県に工場建設を進める企業があったのだ。この背景には、岡山県総合流通センターや岡山市北区久米の鉄工センター等が手狭になっていくにもかわからず、そこを拡張するとか、近くに適地を造るとかの準備ができていないことがある。そのため、県外に出て行かざるを得なかった現状になっていると私は受け止めている。これから二号バイパス高架事業や百八十号バイパス本線工事が始まるというの



に、こうしたことを無くしていかなければならぬ。それが私の考えだ。そこで、各産業団地に立地している企業や、本県に立地を希望している企業の要望をキチンと吸い上げて、産業用地の確保について施策展開すべきとの持論を、直接、産業労働部長に申し上げた。

産業労働部長から、「産業用地確保については、市町村と連携して、産業用地が提供できるように取組んでいるところであり、今後も産業用地確保に取り組み市町村の支援を行う」との答弁をいただいた。

もっと実情を知りたいとの思いで、更に踏み込んで訊ねた。質問は次の四点である。

市町村とどのような連絡会議を持たれているのか、現在の情報交換のやり方を教えて欲しい。

岡山市は準工業地域が多く、(現在、操業環境が悪くなっており)岡山市外に出て行っている状況がある。市外に出ていることについて、岡山市にお伝えをしているのか、県南に産業用地がないが、どうするか。

現工場で操業中では、そこに建て替えが出来ない。隣地を何とかすれば流出防止が可能である。隣地対策

を考えていくべきではないのか。これら四点に対して、産業労働部長から、次のような答弁があった。個別に、それぞれと情報交換を行っている。

市外へ出ていく企業について、知り得た段階で情報を提供している。県南の産業用地がないことについて、岡山市と話をしている。それぞれの案件ごとに相談に行っている。

産業用地確保の問題はこれまでも何度となく取り上げてきたが、今回の答弁を聞いてみても、大きな課題であると感ずるばかりだった。諦めずに、粘り強く、これからの取組んで行く。

エコバッグ利用のマナー向上について

七月一日のレジ袋有料化以降、スーパー等での万引きの増加が懸念されているが、警察本部長から県内の状況についてご報告をお願いした。

県警本部長から、「本年八月末現在、県内における万引き認知件数は七百九十件、過去五年と比べると約二十パーセント減少、前年同期比で六・三パーセント増加。七月以降では、合計百八十二件を認知しているが、月単位で見ると、六月までは平均百一件、七月以降は平均九十一件と減少している。また、七月以降百八十二件の内、エコバッグによる犯行と確認できたものは十七件だった。」との報告をいただいた。

次に対策について。各店舗とも、防犯カメラの増設、精算前と精算済みで籠を分ける取り組みなどを行っているが、そうした万引き防止の取組みに対する支援策は県当局として何かお考えしているのか、県民生活部長に訊ねた。

県民生活部長から、「スーパーやコンビニ等をメンバーとする、万引

き防止ネットワーク連絡会議を開催し、事例研究や防犯カメラ活用の研修などを実施している。エコバッグを使用した万引きについて、防止策の情報提供や助言などを行っている」との答弁があった。

そして、エコバッグは、買い物中は折り畳むなどマナーよく使えば、店舗とお客がお互いに気持ち良くなると思うが、マナー向上の呼びかけをもっとしていくお考えはあるのか、環境文化部長に訊ねた。

環境文化部長から、「エコバッグ使用に当たっての注意喚起を行っている。引き続き、様々な広報媒体を通じて行っていく」との答弁があった。

南部高等技術専門学校について

南部高等技術専門学校は倉敷市新田にある。普通課程(三科)と短期過程(四科)を持つ。この計七科の中の環境設備工学科の定員は二十名で、現在の生徒数は一年生が九人、二年生が六人で、他の訓練科でも同じような状態であり、高等技術専門校の予算約五億円が活かしきれているとは言えないのではないかと申し上げた上で、どうしてこのような状態になっているのかを県当局に質問した。

産業労働部長から、専門校の入学に関しては景気の動向を受けやすいとの趣旨の回答をいただいた。

続けて、この環境設備工学科の名称では、どのような仕事に就業できるのか、どのような資格を取得できるのか、多くの方はイメージできないの思いから、明解な訓練科名称にしてはどうかと提案。

すると、産業労働部長から、不断の見直しの中から、検討をしていきたいとの答えをいただいた。

さらに、多くの資格を取れて、仕事上大きな役割を果たせることをホームページ、パンフレットに記載すべきと訴えた。

産業労働部長から、今後、修了生の声や就職先での評価を掲載するなど、入校希望者が夢を抱けるような広報にしていきたいとの前向きな考えを聞かせていただいた。

「いずみ町庁舎の今後」と「総合グラウンドの機能充実」について

この度、県警本部庁舎完成で分散

していたものが一つに集約され、使用しなくなった施設の中で、小橋町庁舎等は県庁本庁舎耐震化工事時の知事部局の一時引越先となること聞くが、一方で一九八六年竣工の岡山県警交通管制センターの今後の用途は決まっているのか。また、この建物に隣接する交通機動隊庁舎は、一九六一年に竣工されていて老朽化もかなり進んでいると聞く。今後この二つの建物はどうするお考えなのか、県警本部長に訊ねた。

県警本部長から、「交通管制センターのあった建物については、管区機動隊の活動拠点として、引き続き活用したい。交通機動隊庁舎は平成二十三年に耐震改修を行っており、引き続き使用する予定である」との答弁だった。

交通機関はどうなるのか。他の計画との関係も説明して下されば、住民の方々に喜ばれたのではないかと考えています。

こうした意見は「広域の方向性を決めていく県」にとっても大切なものです。私は、土地利用の問題について県当局ももっと関わるように要望をしているところで、今回、聞いた話を県当局にも伝え、県の関わる部分については、動きをよくしていくように取組んでいきます。

**太田正孝が出席した
岡山市立地適正化計画説明会**

8月 7日	高松公民館
8月17日	足守公民館
8月21日	吉備公民館
8月28日	西ふれあいセンター
8月29日	御南西公民館

まごころプロジェクト

—岡山市の立地適正化計画の説明会に参加して—

岡山市立地適正化計画について、その説明を岡山市自身がホームページの中で行っています。

その説明によると、「岡山市は、人口減少下においても都市が持続的に発展できるように、「コンパクトでネットワーク化された都市づくりを進める方針」として、その実行戦略として、『立地適正化計画』の策定に取り組んでいる」というのです。

それでは人口減少が進むとどんなところが心配になるのでしょうか。もう既に人口減少が進んで、日常生活で困っている地域が岡山市内にも出てきています。

そこで、起きている問題を幾つか私なりに挙げます。

①学校に通う子どもが減っている。もう既に小学校が廃校になった。

②買物できる場所が遠い。

吉備公民館にて

説明会に参加した様子。会場には多くの市民が参加し、説明を聴きながら質問や意見を述べた。

③医療機関が遠い。移動手段が自動車しかなく、免許を返納すると困る。

それでは岡山市の立地適正化計画説明会でのことを記します。

私は幾つかの会場に足を運びました。多くの会場で、参加者が少ないのではないかとこの意見が出されました。重要な内容がたくさんありましたので、私も残念に思いました。

それで中身についてです。私が気になったのが、この計画では、将来の不安に対して真正面から向き合っていないことです。そのことに関する意見が出た会場での話を紹介します。

一つ目は、桃太郎線(吉備線)のLRT化推進されている地域の会場です。



てくてくまさたか

清水白桃初出荷

(宮瀬果場) 七月二十日



農業大賞のカップ

初出荷式に併せて、農業大賞の表彰状授与もありました。生産者の方々、おめでとうございます。

日本一のだがし売場

(瀬戸内市) 七月二十日

田園が広がるなかに、ポツリとある倉庫が丸ごとお店になっていて、その中は駄菓子でいっぱい。幼

新型コロナウイルス対策

経済対策本部を 早急に立ち上げるべき!!

— 新型コロナウイルスが長期化するなかで —

パジェロは二〇二一年上期をもって生産中止、EVアイミーブが二〇二〇年度をもって生産中止ということが発表されている、三菱自動車の看板車種がなくなると寂しくなるなあと思っていた矢先の九月下旬、十一月中旬から国内で五百〜六百人規模の希望退職を募集するとのニュースが流れた。水島製作所(岡山県倉敷市)も対象となるとい

これから、世界に巡らされている自動車産業のサプライチェーンがどうなるのか、私たち岡山県における影響はとて大きい。岡山県としても、EVシフトに向けての事業を行ってきているところであり、これからどういう形で自



い頃、駄菓子屋が好きだったことを思い出させてくれました。そして、社長の駄菓子子は日本の文化という話にも納得することがあります。現在は瀬戸内市の人気スポットになっています。

新山ほほえみ笑店

(吉備中央町) 七月二十日

中山間地域の自治会が法人を作り、学校跡地で地域の方が欲しい物品を販売しています。この場所では定期的な集まりが行われていて、その帰りに買うという形を上手く作っています。これは県の元気集落に指定されていて、こ



内山工業研究所視察 (赤磐市) 八月十九日



避難所用発泡スチロール製簡易ベッドの組立の実演を見せて頂きました。組立はとても簡単で、何度も利用できるといふことで、とても有効なものと感じました。県内企業の開発力は頼もしい限りです。



EVアイミーブをベースにした次世代自動車

動産産業を支援していくのことも、そのかじ取りについて再考をしていかなければならない。そして、十月初め、パナソニック社内カンパニー、コネクティッドソリューションズ(CNS)社岡山工場(岡山市東区東平島約八万三千三百㎡)が来年年九月末に閉鎖されるとの発表があった。大阪府門真市等に集約され、従業員三百一名の雇用も配置転換で維持されると報道された。県内にも多くの取引先がある。影響を最小限に食い止めなければならぬ。この新型コロナウイルスの

した取組を他の地域にも紹介していきます。

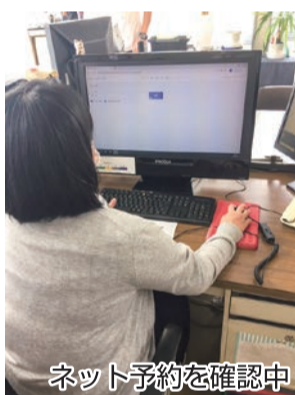
デマンド乗り合い

交通システムを視察 (久米南町) 八月二十五日



カッピ-のりあい号

スマホでクラウド予約可能。料金は律三三百円です。病院、買物等の手段として地域の方々の足として重宝されています。



ネット予約を確認中

美作農園(美作市)

八月二十六日

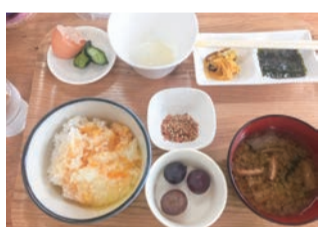


腰の高さでイチゴを栽培して、イチゴ狩りしやくするなどの工夫をされていました。これはお客様目線でディテールまで考えられている観光農園でありました。



美咲町長を訪問

九月四日



「たまごかけご飯をいただきました。皆様も一度いかがでしょうか。」

自民党岡山県連経済活性化

議員連盟と

県内経済六団体との懇談会 (岡山市内ホテル) 九月七日



新型コロナウイルスの影響に対して、国の支援策を活用して助かっているとの声を聞く中で、手続きが今にあっていないものもあると、ご指摘もありました。また、岡山県内のテレワークの比率が東京、大阪に比べて、かなり低いとの話も。

吉備中央町役場

九月二十八日



町長選挙&町議会議員選挙が九月二十七日に終わりました。吉備中央町議会に新しい議員も加わり、新たなスタートを切りました。

岡山県秋季戦没者慰霊祭

(護国神社) 十月五日



英霊のご冥福と恒久平和を祈りました。

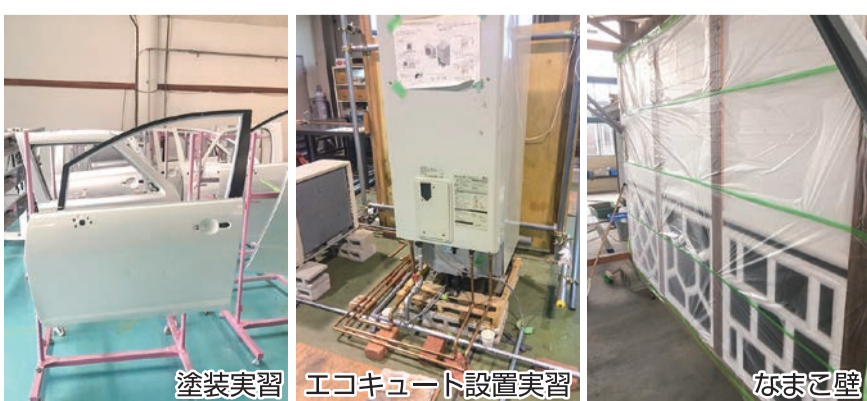
南部高等技術専門校見学

(倉敷市) 十月七日

九月定例県議会の一般質問で取り上げた南部高等技術専門校を見学させていただきました。左官養成コースで学ばれた方々のなまご壁の作品を見せていただき、びっくりしました。作品の中に、大会で金賞、銀賞をとったものも並んでいて、レベルが高い。そして、現在、倉敷美観地区の白壁の建物を守る仕事にも参加している卒業生が要ると聞きました。短期間

編集後記

伊原本知事が四五万九三三九票の得票で三選を果たし、これからの四年を担われることになりました。「西日本豪雨」と「新型コロナウイルス」で、県内の状況は変わってしまいました。そして十月下旬に新型コロナウイルスのクラスターも発生しています。将来への不安を持つ県民が多くなっています。明るいニュースが県民にたくさん届くような県政になるように、リーダーシップに期待してやみません。(M.O.)



塗装実習

エコキュート設置実習

なまご壁